

令和3年度 学校評価票

北海道札幌南高等学校

令和3年度の重点目標

- (1) 授業の工夫・改善により主体的に学ぶ意欲を育み、基礎学力の定着と学力向上を図る
- (2) 基本的な生活習慣を確立させ、自律できるための目標性・社会性を育成する
- (3) 遠隔指導・キャリア教育や授業改善を推進し、自己実現を図る生徒を育成する
- (4) 生徒間の関係を尊重し、授業・安全教育を充実させ、自ら進んで積極的な態度を育成する
- (5) 地域と連携した教育活動の推進を図り、社会に貢献する態度や能力を育成する

【学校関係者評価】
A：適切
B：ほぼ適切
C：やや不適切
D：不適切

【内部評価】本校教職員による評価については、各々A～Dで示した。
A：十分である
B：おおむね十分である
C：やや不十分である
D：不十分である

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ
教育目標 経営方針	1 本校の教育目標は、生徒や保護者・地域の方々の実態を踏まえたものか	B	1 学校評価アンケートの適切な活用と情報発信・収集の充実	B
	2 学校の教育目標や経営方針を具現化するという意識のもと日々の教育活動が行われているか	B	2 学校課題の共有と協働による教育活動の推進	
	3 生徒・保護者・地域の期待に応え、夢を叶える事ができる活力と魅力にあふれる学校であるか	B	3 学校評価の結果を適切に活用した教育活動の工夫・改善	
	4 伝統を継承しつつ改善を目指す、地域に開かれた学校であるか	B	4 授業・教育活動の一環の公開授業ある学校づくりの推進	
ご意見・ご要望 不易流行を実現し特色ある学校であって欲しい。				
学習指導	5 本校の特色を明確にする教育課程の工夫や見直しを継続したか	B	5 本校の特色を明確にする教育課程の見直しと検討	B
	6 学習指導が授業理解に結びつき、学習の習慣づけが形成されたか	C	6 学習習慣づけの具体的な方策の検討・実施	
	7 授業公開の実施と興味関心を持たせる指導が授業で実施されたか	B	7 授業公開時間の確保、内容の充実を図る教育活動による授業改善の推進	
	8 授業評価の結果に関する分析と校内研修の実施が適切か	C	8 適切な分析結果の提供と授業改善に向けた組織的な取組の充実	
9 学ぶ意義を理解させ、生徒の意欲を喚起させることができるか	B	9 「学ぶ意義」を理解させる取組の具体的な方策の検討と組織的な取組の充実		
ご意見・ご要望				
生徒指導	10 企画・立案段階における生徒の主体的参加が行われていたか	B	10 生徒会行事はもちろん生徒自身の係の課題についての生徒会・クラス討議の充実	B
	11 教師研修を必要とする生徒への対応方法を検討・確立できたか	B	11 教育相談・特別支援委員会の一環の充実と全職員による情報共有の推進	
	12 生徒側が自分の役割をもち、相互に協力して活動する過程で好ましい人間関係が築かれたか	B	12 生徒指導ツール (Hyper G-1) の有効活用と良好な対人関係構築に向けた支援の充実	
	13 芽ましい部活動の充実・発展に向けて工夫や改善がされたか	B	13 生徒会に伴う効果的な部活動の在り方の検討	
ご意見・ご要望				
進路指導	14 進路講話等を活用し、キャリア教育の充実を促されたか	B	14 インターンシップ等の体験的活動の推進と3年間を見通したキャリア教育の充実	B
	15 進路調査、進路相談が卒業後の将来を展望する支援・指導に役立っていたか	B	15 三者面談の実施と家庭との連携の強化	
	16 卒業後の進路決定に関して、保護者との連携が十分行われていたか	B	16 1、2年生向け保護者進路説明会の充実と組織的な情報提供の推進	
	17 進路指導や進路支援への関係指導体制を学年ごと協働し運営できたか	B	17 全職員による直接指導の実施と指導法の改善・工夫	
18 進路指導の充実、関係者の状況等の情報を職員で共有化したか	B	18 情報の共有化の工夫・改善		
ご意見・ご要望				
健康安全管理	19 新型コロナウイルス感染症予防への対応は適切であったか	B	19 日常的な健康管理の徹底	B
	20 防災訓練や性教育講話を通して生命尊重の意識を高めたか	B	20 避難訓練の年間2回以上の実施と内容の工夫・改善	
	21 支援を必要とする生徒情報と関係機関と共有し、早期の対応に努めたか	B	21 特別支援に関する研修の継続と専門員・関係機関との連携の強化	
	22 保健だより等の発行や連絡相談により、家庭や関係機関等との連携が十分行われていたか	B	22 保健だよりによる啓発の推進と保護者とのより一層の連携の強化	
ご意見・ご要望				
評価分野	評価項目	自己評価	学校関係者評価	
信頼される学校づくり	23 中で緊急連絡、中学生や卒業生への情報提供など適切な更新と発信をしたか	B	23 複数の担当者によるHPの適切な更新と積極的な活用	B
	24 地域や保護者の意見を傾聴し、要望や依頼に適切に対応したか	B	24 積極的丁寧な対応の継続と保護者アンケートによる学校課題の把握	
	25 地域社会や小中学校との連携や奉仕活動の機会がなかったか	B	25 ・地域ボランティア活動の推進・異校種交流の活性化の推進	
	26 学校評価の結果を受け、教育活動改善への適切な活用がなされたか	B	26 適切な学校評価項目の設定と学校評価の結果を生かす教育活動の工夫・改善	
27 保護者との懇談の機会が各学年で設定されたか	B	27 学年委員会や保護者会の充実による保護者との連携の強化		
ご意見・ご要望				
組織運営	28 教職員の意志が疎通し、風通しの良い職場となっていたか	B	28 学校課題等の情報共有と教職員相互の意志疎通の強化と報告・連絡・相談の徹底	B
	29 業務分組や学校運営がなされたか	B	29 学校課題解決に向けた分業業務の重点化と効率的な協働による業務の実施	
	30 個人のアイディアを生かし、組織を通して仕事をしていたか	B	30 学校課題の共有と協働による組織的な学校運営の推進	
	31 職員会議は、発言しやすく創造的な意見調整の機能を果たしていたか	B	31 教職員会議による立派な実施と会議資料の事前配布	
32 学校課題、生徒情報、危機管理の情報を共有し、管理職からの適切な指導・助言が十分行われていたか	B	32 正確な情報の把握に努め今後の教職員の動向を踏まえた適切な指導・助言の実施とそれに向けた研修の実施		
ご意見・ご要望				
教職員の資質向上	33 授業評価の結果が活用され、分かる授業を生徒に提供できたか	B	33 生徒による授業評価の分析・活用による適切な授業改善の実施	B
	34 長期休業中を利用して研修を努め、また適切な勤務をしたか	B	34 教育のプロとしての自覚と絶えず研修に励む姿勢の更なる充実	
	35 教育公務員としての自覚を持ち、不祥事を防ぐ意識を持っていたか	A	35 教育公務員としてのより一層の自覚と服務規律を遵守する意識の徹底	
	36 シラバスを活用し観点別評価の推進がなされたか	B	36 効果的な活用や評価基準の作成に向けた研修の充実	
37 職務規律の保持に関する情報提供が適宜行われ、事故の未然防止に努めていたか	A	37 職務違反事例の効果的な活用と教員相互による日常的な声かけ		
ご意見・ご要望				
いじめの問題	38 いじめの未然防止に向けて生徒を指導をしたか	B	38 毎月の「いじめ確認の日」の有効活用と積極的（予防的）な生徒指導の充実	B
	39 いじめの早期発見のために生徒の様子を日常的に観察し情報共有を図ったか	B	39 個人面談・教育相談の充実と日常的な生徒観察と情報共有の継続	
	40 いじめの発生に対して、学校全体で早期対応する体制が確立しているか	B	40 いじめ防止対策委員会による組織的な取組の強化	
	41 地域・保護者とともにいじめの根絶に向けた取組をしているか	B	41 保護者および関係機関との連携の強化	
ご意見・ご要望				